

燃圧の点検

JBS00DOQ

簡易点検

CONSULT- II を使用する場合

1. キースイッチを ON (エンジン停止) にする。
2. アクティブテストの“燃料ポンプリレー”で ON 又は断続を押す。
3. フューエルフィードホースを指でつまんだとき、ホースに張り又は脈動があること。



CONSULT- II を使用しない場合

- 低圧フューエルポンプ作動時 (キースイッチ ON 直後やクランキング時等) にフューエルフィードホースをつまんだとき、ホースに張り又は脈動があること。

燃圧の除去

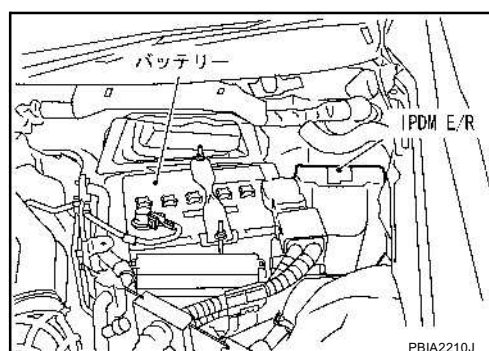
注意: 安全のため、燃料配管を外す前には燃圧を除去すること。

CONSULT- II を使用する場合

1. エンジンを始動する。
2. コンサルトの作業サポートで“燃圧除去”を選ぶ。
3. エンスト後 2～3 回クランキングし、配管中の燃料を消費する。
4. キースイッチを OFF にする。

CONSULT- II を使用しない場合

1. IPDM E/R 内にあるフューエルポンプヒューズを外す。
2. エンジンを始動する。
3. エンスト後、2～3 回クランキングし、配管中の燃料を消費する。
4. キースイッチを OFF にし、フューエルポンプヒューズを取り付ける。



燃圧の点検

警告: 燃圧点検に用いる燃料ホースの接続方法を燃圧測定以外、絶対に用いないこと。

注意: • フューエルホースの脱着は「[フューエルインジェクター、フューエルチューブ \(VQ25DET\)](#)」(EM-62 ページ)を参照し安全、確実に行うこと。

- 燃圧の点検には燃圧計を使用すること。
- 燃圧測定の際は、3 分ごとにフューエルホース接続部分からの燃料漏れがないことを確認すること。
- 燃圧に誤差があるので、他システム作動中に燃圧の点検をしないこと。

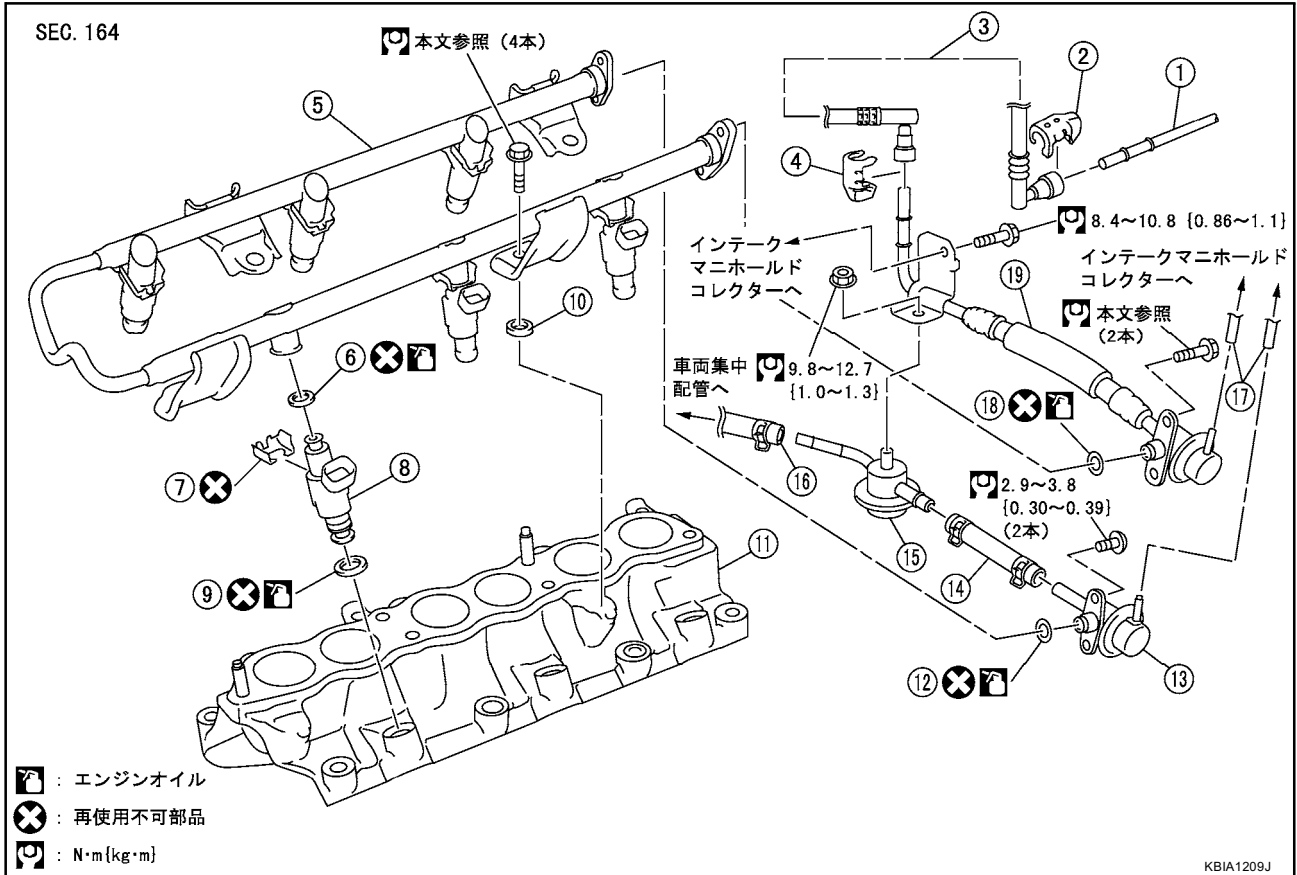
1. 燃圧を除去する。

フューエルインジェクター、フューエルチューブ (VQ25DET)

PFP:16600

取り外し、取り付け

JBS00EIR



注意： 部品取り付け時、図中に指示マークがあるものは、新しいエンジンオイルを塗布して取り付けること。

- | | | |
|--------------------------------|------------------|------------------------------|
| 1. 車両集中配管 | 2. クイックコネクターキャップ | 3. フューエルフィードホース (クイックコネクター式) |
| 4. クイックコネクターキャップ | 5. フューエルチューブ | 6. Oリング (黒) |
| 7. クリップ | 8. フューエルインジェクター | 9. Oリング (緑) |
| 10. インシュレーター | 11. インテークマニホールド | 12. Oリング |
| 13. プレッシャーレギュレーター | 14. フューエルホース | 15. フューエルリターンダンパー |
| 16. フューエルリターンホース | 17. バキュームホース | 18. Oリング |
| 19. フューエルフィードダンパー (フューエルホース一体) | | |

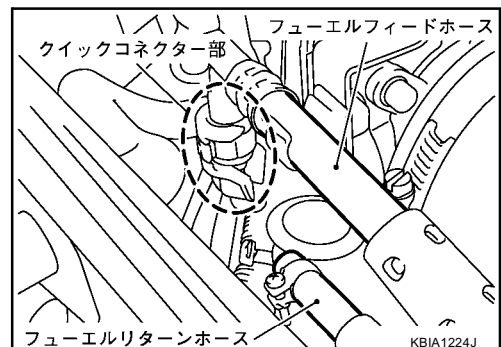
取り外し

- 燃圧を除去する。「基本点検」[「燃圧の点検」\(EC-194 ページ\)](#)を参照する。
- エンジンカバーを取り外す。[「インテークマニホールドコレクター \(VQ25DET\)」\(EM-22 ページ\)](#)を参照
- フューエルフィードホース及びリターンホースを外す。

注意： 分離時、燃料が漏れないよう栓 (プラグ) を取り付けること。

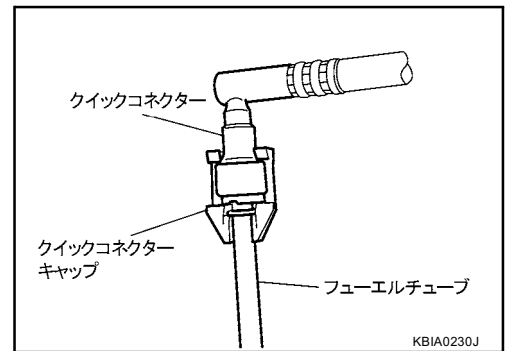
- フューエルフィードホースは以下の手順でクイックコネクター部を分離する。

参考：エンジン側、車両配管側とも同じ要領。エンジン側を例に脱着の要領を記載する。



フューエルインジェクター、フューエルチューブ (VQ25DET)

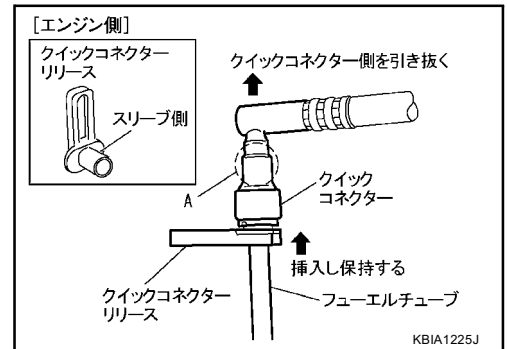
- a. クイックコネクター接続部からクイックコネクターキャップを取り外す。



- b. 以下の要領でクイックコネクターリリース（サービス設定品：以下名称を「リリース」と略す）を使用してクイックコネクターをフューエルチューブから分離する。

- i. スリーブ側をクイックコネクターに向けてリリースをフューエルチューブにセットする。
- ii. スリーブが突き当たるまでクイックコネクター内部にリリースを挿入して保持する。

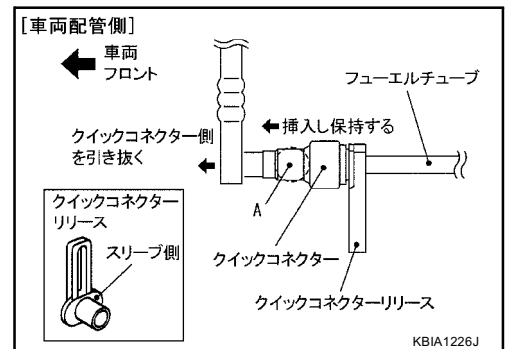
注意： リリースを強く挿入してもクイックコネクターは外れないので突き当たった位置で保持すること。



- iii. クイックコネクターをフューエルチューブからまっすぐ引き抜く。

注意： 図の A 部を持って引き抜くこと。

- 引き抜き時、クイックコネクター曲げ方向に荷重をかけないこと。（横荷重厳禁）
- 燃料が漏れるので受け皿、ウエス等を用意すること。
- 火気に注意すること。
- 分離時、ホース内に異物がはいらないよう栓（プラグ）を取り付けること。

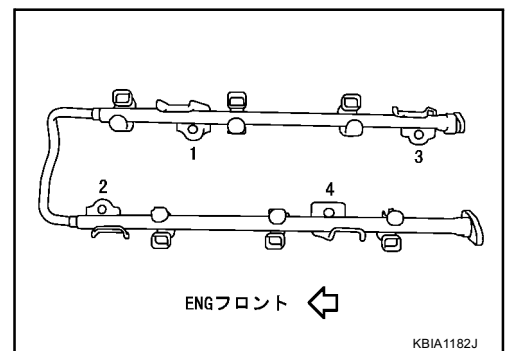


4. インテークマニホールドコレクターを取り外す。[「インテークマニホールドコレクター \(VQ25DET\)」\(EM-22 ページ\)](#) を参照する。

5. フューエルインジェクターからハーネスコネクターを外す。

6. 図と逆の番号順に取付ボルトを緩めてフューエルチューブ・インジェクター ASSY を取り外す。

注意： 配管内に残った燃料が漏れるので傾けないよう取り外すこと。

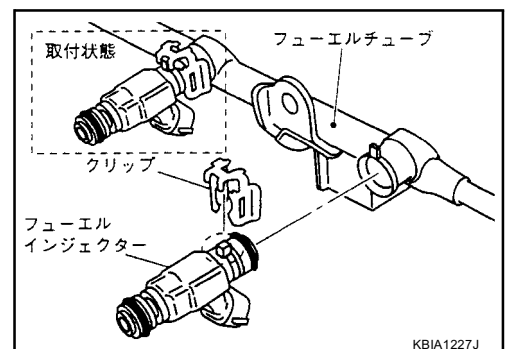


7. 以下の手順でフューエルインジェクターをフューエルチューブから取り外す。

- a. クリップを開いて取り外す。

- b. フューエルインジェクターをフューエルチューブからまっすぐ抜き取る。

注意： フューエルチューブ内に残った燃料が出るので注意すること。



フューエルインジェクター、フューエルチューブ (VQ25DET)

- フューエルインジェクターのノズル部が損傷しないよう取り扱うこと。
- 落下等の衝撃を与えないよう取り扱うこと。
- 分解、調整は行わないこと。

8. フューエルリターンダンパーを取り外す。

9. プレッシャーレギュレーター、フューエルフィードダンパーをフューエルチューブから取り外す。

注意： フューエルフィードダンパーからフューエルホースを外さないこと。

取り付け

1. プレッシャーレギュレーターを取り付ける。

• Oリングは以下に注意して取り扱うこと。

注意： • 必ず素手で取り扱うこと。(手袋厳禁)

• Oリングにはエンジンオイル (5W-30 等低粘度のもの) を塗布すること。

• 溶剤での清掃は行わないこと。

• Oリング及び取付部品に異物の付着がないこと。

• 取付時、工具や作業者の爪で傷を付けないよう注意する。また、ねじれや伸びにも注意し、伸ばして装着した場合はすぐにフューエルチューブに挿入しないこと。

• フューエルチューブに挿入するときは、偏心させたり回転させたりしないようまっすぐ取り付けること。

• プレッシャーレギュレーターはフューエルチューブに傾けないようまっすぐ挿入する。

• 取付スクリューは交互に均等に締め付ける。

• スクリュー締め付け後、フランジ部とフューエルチューブにすきまがないことを確認する。

2. フューエルフィードダンパーを取り付ける。

• Oリングの取り扱い注意は上記を参照

• フューエルダンパーはフューエルチューブに傾けないようまっすぐ挿入する。

• 取付ボルトは2回に分けて交互に均等に締め付ける。

1回目 : 2.5 ~ 4.0N・m [0.25 ~ 0.41kg・m]

2回目 : 8.4 ~ 9.7N・m [0.86 ~ 0.99kg・m]

• ボルト締め付け後、フランジ部とフューエルチューブにすきまがないことを確認する。

3. フューエルリターンダンパーを取り付ける。

• フューエルリターンダンパーをフューエルフィードダンパー側取付穴に取り付けた状態で、フューエルホース (プレッシャーレギュレーター~フューエルリターンダンパー間) に張り、たわみがないことを確認する。

• ホースクランプはバルジにかからない位置で確実に締め付ける。

4. 以下に注意してOリングをフューエルインジェクターに取り付ける。

注意： • 上下でOリングが異なるので誤組付しないよう注意する。

フューエルチューブ側 : 黒

ノズル側 : 緑色

• 必ず素手で取り扱うこと。(手袋厳禁)

• Oリングにはエンジンオイル (5W-30 等低粘度のもの) を塗布すること。

• 溶剤での清掃は行わないこと。

• Oリング及び取付部品に異物の付着がないこと。

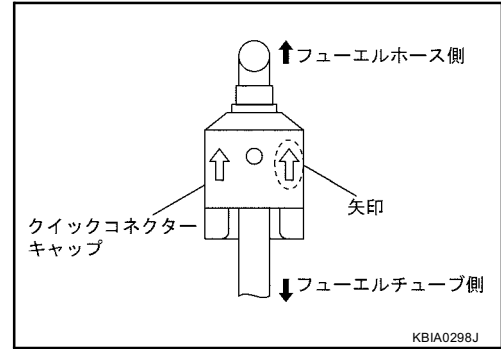
• 取付時、工具や作業者の爪で傷を付けないよう注意する。また、ねじれや伸びにも注意し、伸ばして装着した場合はすぐにフューエルチューブに挿入しないこと。

• フューエルチューブに挿入するときは、偏心させたり回転させたりしないようまっすぐ取り付けること。

フューエルインジェクター、フューエルチューブ (VQ25DET)

参考：引っ張る力の目安は 50N {5.1kg}

- e. クイックコネクター接続部にクイックコネクターキャップを取り付ける。
 - 側面の矢印をフューエルフィールドホース側に向けて取り付ける。
- f. フューエルホースをホースクランプに固定する。



8. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。

取り付け後の点検

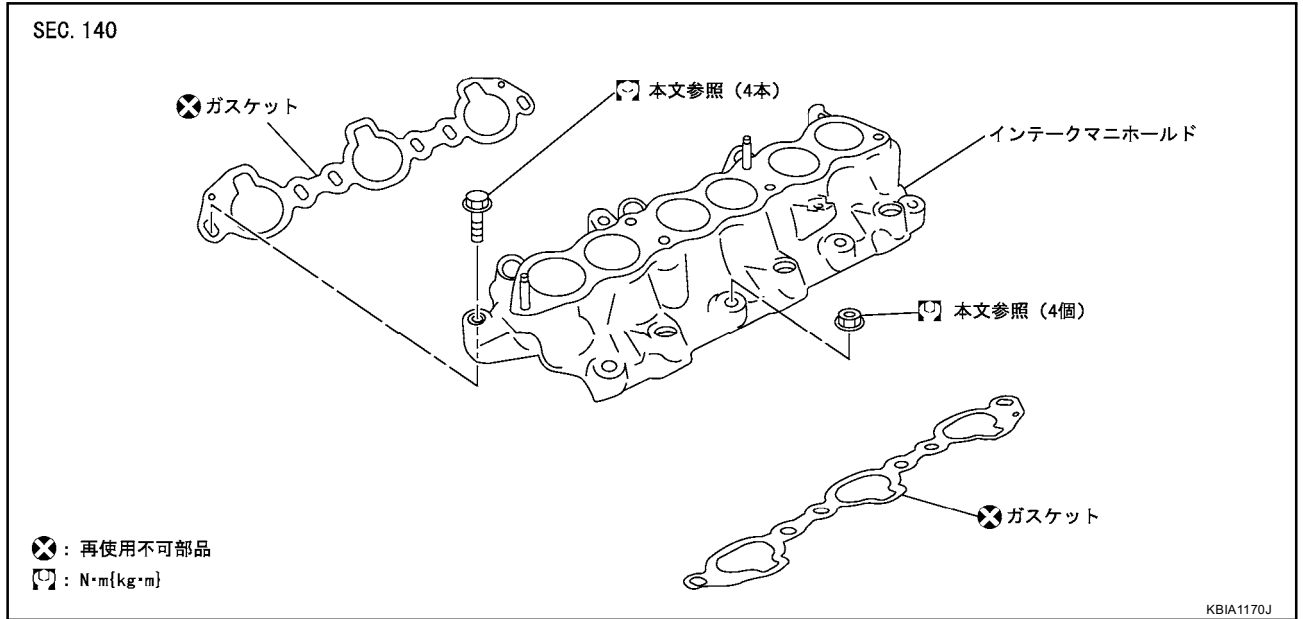
- 以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。
1. キースイッチを ON (エンジン非始動状態) にし、燃料配管に燃圧をかけた状態で、接続部から燃料の漏れがないことを確認する。
 2. エンジンを始動し、回転を上げた状態で、接続部から燃料の漏れがないことを再度確認する。

インテークマニホールド (VQ25DET)

PF:14003

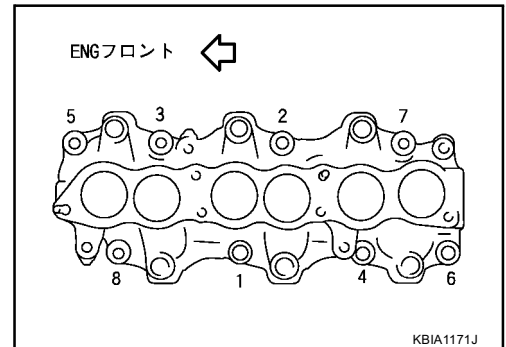
取り外し、取り付け

JBS00EDU



取り外し

1. インテークマニホールドコレクターを取り外す。[「インテークマニホールドコレクター \(VQ25DET\)」 \(EM-22 ページ\)](#) を参照する。
2. フューエルチューブ・フューエルインジェクター ASSY を取り外す。[「フューエルインジェクター、フューエルチューブ \(VQ25DET\)」 \(EM-62 ページ\)](#) を参照する。
3. 図と逆の番号順に取付ボルト、ナットを緩めて、インテークマニホールドを取り外す。

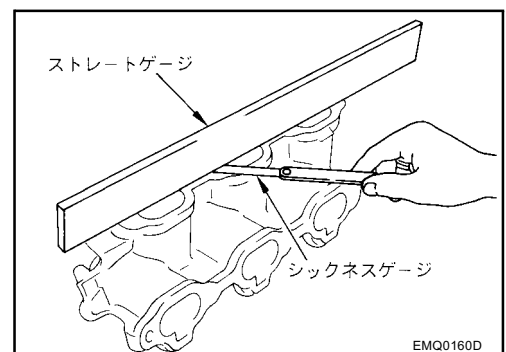


取り外し後の点検

取付面のひずみ

- ストレートゲージとシックネスゲージを使用して、インテークマニホールド各取付面のひずみを点検する。

限度値 : 0.1mm



インテークマニホールド (VQ25DET)

取り付け

以下に注意して取り外しと逆の手順で取り付け。

インテークマニホールド取り付け

- スタッドボルトが抜けた場合は以下のトルクで取り付け。

締付トルク : 9.8 ~ 11.8N・m {1.0 ~ 1.2kg・m}

- 図の番号順に 3 回以上に分けて、全数が規定トルクになるまで取付ボルト、ナットを締め付ける。

1 回目締付トルク : 4.9 ~ 9.8N・m {0.5 ~ 1.0kg・m}

2 回目締付トルク : 26.5 ~ 31.4N・m {2.7 ~ 3.2kg・m}

3 回目以降締付トルク : 26.5 ~ 31.4N・m {2.7 ~ 3.2kg・m}

